

審議会等の会議記録

会議の名称	第6回 朝日町新庁舎建設基本構想策定委員会
開催日時	令和4年7月25日(月) 13時30分～14時50分
開催場所	朝日町役場 2階 大会議室
出席者氏名	<p>委員：小林 慶太郎          吉久 輝栄          東 勝久          池田 佐知子          三田 卓          水谷 正秀          宮本 秀治          赤塚 三重子 (敬称略)</p> <p>町長：矢野 純男          副町長：荒木 敏之</p> <p>事務局：稲垣 光政          佐藤 壽晃          西脇 巧          葛山 稔晃</p>
欠席者氏名	<p>委員：山本 淑子          佐藤 修 (敬称略)</p>
傍聴人数	3名
会議の議題	基本構想(案)について
会議資料の内容	資料1 朝日町新庁舎建設基本構想(案)

<p>会議における 議事の経過 及び発言の要旨</p>	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 議事 基本構想（案）について 事務局：（説明）</p> <p>小林委員長：本日、ご欠席の佐藤委員のご意見について、事務局よりご紹介、それに対する回答をお願い致します。</p> <p>副町長：1 5.新庁舎の規模算定について →現在の中央公民館の機能を、新庁舎に新設する方針に決定したものではない。規模1,000㎡以上は必要であるということであるが、敷地面積を算定するために、同規模団体を参考に、仮に新庁舎に移転した場合に試算したものであるため、今後、関係者と調整しながら検討を進めていきたい。</p> <p>2 6.候補地の検討 (3) 建設候補地の評価 →メリット、デメリットについては、候補地の選定に影響のある主要な項目を記載したものであるため、ご指摘の詳細な内容は割愛させていただく。</p> <p>3 7.事業手法の検討 →本構想では手法を決定するものではなく、基本計画以降、詳細に検討を重ねていきたい。</p> <p>4 9.概算事業費 →備品購入費を1億円として計上している。太陽光パネル、非常用電源などの設備は、今後、建設工事費に計上していくものと考えている。</p> <p>水谷委員：他市町の庁舎建設で、供用開始後に騒音に対する追加工事が発生した事例がある。騒音対策も視野に入れて、今後の建設候補地の決定をされたい。 建設工事費の単価については、もう少し、資材単価の高騰を見込んだものにする必要があると考える。入札不調になっている自治体が見受けられる。 緊急防災・減災事業債の借入れの利率は0.7%で正しいのか。</p> <p>副町長：1点目の騒音対策については、現段階については何も検討を行っていない。今後、基本計画以降において、周辺環境の調査も踏まえて整理していきたいと考える。 2点目の建設工事費の単価については、今後、どれくらい高騰していくのかが読み取れない部分があるため、基本構想段階では、他市町の事例単価にて整理し</p>
-------------------------------------	---

たものである。

事務局：3点目の緊急防災・減災事業債の金利0.7%については、財務省が公表している財政融資資金貸付金利の4月1時点を参照している。

吉久委員：建設工事費の単価については、記載の450千円/m<sup>2</sup>ですら、現実的ではないと考えるため、再考をお願いしたい。

P40 ⑧告示板・掲示板 サイン計画においては、外国語表示についての記載もお願いしたい。

P41 ⑩地域資材を活用した建材 について、「竹」を庁舎建設に活用することについて、「積極的な」という記載が盛り込まれている。今後、財源との調整を考えた時には、この「積極的な」の記載は避けるべきである。設計者の立場からすると、「積極的な」が入ると優先的に活用を検討するだろう。

P54 7 事業手法の検討 について、「設計・施工一括発注方式」を採用した場合に、第三者のチェックが手薄になるため、「庁舎建設におけるデメリット」に、記載をお願いしたい。

事務局：上記ご意見については、事務局にて調整を行い、適宜修正をおこなう。

三田委員：P28の町民アンケートをみると、そもそも庁舎建替を反対する意見があった。自分たちに直結する施策に税金を投資してほしいと考えている方が多くいるのだろうと考える。議員の中でも、庁舎建設に対する議論をこれまで行われてきたのか。それを踏まえ、町民が现阶段に記載の財政シミュレーションであると、反対意見の人が納得していただけるような記載になっていないように思えるため、改めて分かりやすい記載に修正をお願いしたい。

副町長：財政に多大な影響を及ぼすことである一方、それ以上に庁舎建設の必要性、優先順位が高い事業であることや、緊急防災・減災事業債における財政の優遇措置の観点も踏まえ、記載内容の修正を行っていききたい。

宮本委員：三田委員のご質問に対する回答であるが、議員の中では現時点では十分な議論は行われていない。本構想が取りまとまった段階で、改めて議論を重ねていくということ認識している。

1点確認であるが、今後、建設資材が高騰し続けた場合、それでも、その際の単価で庁舎建設を行っていく考えなのか。

副町長：基本設計、実施設計の段階で資材単価が固まってきた段階で、改めて判断するものと考えている。

東副委員長：P19 現庁舎の耐震性について、耐震補強未実施と記載があるが、耐震補強をする必要がないという記載に修正すべきである。

建設資材の単価の高騰により、庁舎建設事業が財政的に難しくなる可能性があるとしたら、人口を増やす施策や企業誘致等、別で財源を生み出す考えを踏まえながら、当事業を進めていただきたい。

P28の町民アンケートにおいて、反対意見の方へ説明する内容として、今後の基本計画以降においても、庁舎建設することでのメリットを常に意識しながら、取り組んでいくことをお願いされたい。

騒音の影響で候補地を変更することは勿体ないと考える。JR沿線沿に住居をかまえている人も普通に住んでいる中で、どこまでの騒音を許容できるかだろう。

水谷委員：騒音の影響で建設候補地を変更するというのではなく、建設工事が始まった後に、補正予算を組んで、追加工事を発注するようなことにならないように慎重に議論を重ねていただきたいということである。

吉久委員：財政シミュレーションの記載であるが、一般の町民が読んでも、理解しづらい内容である。もう少し、読んだ町民が自分にどれくらい負担があるのかがはっきり分かるような理解しやすい書き方で修正をお願いしたい。

小林委員長：町民ひとりあたりでの負担はいくらかというような記載に変更することで対応されたい。

副町長：建設資材単価も踏まえ、財政シミュレーションの記載については、事務局で再考を行う。

宮本委員：財政シミュレーションの結果をみると、毎年度約5,600万円の元利償還が必要となってくるが、うち、緊急防災・減災事業債で毎年度約3,300万円が普通交付税として算入されるということであれば、毎年度2,300万円の負担であれば、十分に事業を行っていけるように感じるがどのように感じているのか。

副町長：基金が約6億円しかない、また、不確定要素が多く果たして本当に22億円でおさまるのかという懸念がある。

小林委員長：直近は基金を取り崩してきたという背景がある中で、毎年度2,300万円を確保していかなければならないことを考えると、決して小さくない数字であるだろう。

赤塚委員：移転での建設であれば交通の安全性は十分に配慮お願

いしたい。

池田委員：今後はより専門的な意見を踏まえながら、事業を進めていっていただけたらと考える。

小林委員長：本日頂いた意見を踏まえ、いくつかは事務局と調整する部分は出てきたかと思う。今後の調整は委員長に一任いただきたい。

宮本委員：建設候補地を皆さんで見ましようという話があったかと思うがどうなったのか。

小林委員長：委員皆さまがある程度、建設候補地を認識していただいた中で、2か所に絞っていただいたと理解している。

小林委員長：今後は、事務局と調整し、その後、町長へ答申する予定でいる。修正された構想案や答申の方法については、改めて皆さんに周知させていただく。

## 5. 閉会